



平成29年3月30日

総合博物館第61回公開講演会を開催します

広島大学では、ニワトリの研究において、日本、さらには世界に誇るべきもの
を有しています。

今回の講演会では、広島大学で行われている数多くあるニワトリ研究の中から、
卵の免疫機能に関する研究や、日本に昔からいるニワトリ(日本鶏)の種類や活用法
などについてお話しします。

申込不要・入場無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

記

【日 時】2017年4月8日(土)13:00~16:30

【場 所】広島大学東広島キャンパス生物生産学部 C206 講義室

【演題/講師】

「鳥類の免疫機能・生殖機能の解明に挑む！」

吉村 幸則 (大学院生物圏科学研究所 教授)

「みなさま、日本鶏ってご存知ですか？－その存在と活用法－」

都築 政起 (大学院生物圏科学研究所 教授)

※講演終了後、日本鶏資源開発プロジェクト研究センターの見学を実施します。

※詳細は広島大学総合博物館ウェブサイトをご覧ください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/index.html>

【お問い合わせ先】

広島大学総合博物館

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号

TEL 082-424-4212 / FAX 082-424-4263

E-mail: museum@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数: A4版 2枚 (本票含む)

4月8日(土) 13:00~16:30 会場:生物生産学部 C206講義室

※講演終了後、日本鶏資源開発プロジェクト研究センターの見学を実施します。



鳥類の免疫機能・生殖機能の 解明に挑む!



■吉村 幸則(生物圏科学研究科 教授)

鶏卵は世界中で好まれる栄養豊かな食材です。卵は生殖ホルモンの調節によって卵巣と卵管で形成されます。卵の食材としての安全性を高めるためにはニワトリの健康を保つことが大切です。ここでは、ニワトリの産卵と感染防御の仕組みについて述べます。



みなさま、日本鶏ってご存知ですか? — その存在と活用法 —



■都築 政起(生物圏科学研究科 教授)

我が国には固有のニワトリ(日本鶏)品種が約45種も存在し、その形態や性質が世界的に見ても珍しいため、多くのものが国の天然記念物に指定されています。本講演では、この日本鶏の紹介を行うと共に、その活用法についてもお話しします。